

# 情報 学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.162

2014.7

## CONTENTS

コラム / 名大祭 / 体育大会 / クラブ活動 / 海外留学・海外渡航について  
企画・学務部の窓 / トピックス / 災害対策 / 伝言板

## COLUMN

### 広角と望遠

理事・副総長 山本 一良

皆さんは写真を撮ることが好きですか?最近では、ほとんどの携帯(電話)やスマートフォンにカメラ機能が付いているし、広角から望遠までズームできる小型軽量なデジ(タル)カメラも容易に手に入るようになりました。撮影画像をすぐに見ることができるし、フィルム代も現像代も不要なので、カメラに対するバリアがずいぶん低くなったと感じます。

父や伯父が写真好きなこともあり、私も中学生の頃からフィルム1枚で2枚撮影できるハーフサイズカメラで撮影していましたが、大学1年生が終わった春休みの一月弱、8時から20時まで、歯車工場の仕上げ工程のヤスリでバリを取る手作業を行って、もらったお金で焦点距離55mm標準レンズ付き一眼レフカメラと、135mm中望遠レンズを買いました。それまでの比較的広角のレンズではカメラを向けた方向の景色がなんとなく全部映るのに対し、この135mmでは注視した対象が浮き上がって写る、写したいものが、そのまま撮れると感じて夢中になりました。風景や動植物、建築物などのある部分を切り取ってじっくり見ると、それまで気づかなかった精巧さ、絶妙な美しさがわかります。その後、その美しさ、精妙さを追求して、フィルム1枚が6cm×7cmの中型カメラに手をのばし、カメラと交換レンズ数本で10kgを超える機材を担いで中央・南アルプスを歩いたりしましたが、家庭を持ってからは子供の写真ばかりになりました。

10年ほど前、高倍率ズームレンズのコン(パクト)デジ(タルカメラ)を入手して、その便利さに仰天、そして6年ほど前、またデジタルの一眼レフに復帰して自然を追いかけ始めました。カメラの進歩は著しく、今では、10倍の双眼鏡で覗いたような写真が三脚なしの手持ちで、しかもピンも自動で撮影できます。遠くの鳥も撮影可能で、ますます望遠側に対象が移ってきました。しかし、あまりにも拡大できるので、対象の周囲が写らない、言い換えれば、視野が狭すぎて周囲が見えないのです。その美しい対象がどんな場所にあるかがわからないと、その価値も半減します。レンズを付け替えているうちに鳥はどこかへ行ってしまっているので、今では、広角側を重視した標準ズームと望遠ズームレンズをつけたカメラを2台持ち歩いています。

なんだか学問の世界にも似ていますね。関心ある対象に深くのめりこんでいくと、周囲が見えなくなってくる。日頃から視野を広げろ、俯瞰力が重要と言っている本人がこんな調子です、いやあ、お恥ずかしい。

# 名大祭

## 第55回名大祭「夢見たっていいじゃないか、名大だもの。」が開催される

第55回名大祭が、6月5日(木)から8日(日)までの4日間、「夢見たっていいじゃないか、名大だもの。」をテーマに開催されました。このテーマは、名大生による学内公募で決定したもので、名大生は萎縮してしまっている、自分の中の何か熱いものを忘れてしまっているのではないかという内省に対し、名大祭という大きなキャンパスに、名大生自身がそれぞれ抱えている夢を描くことで、自分らしさ、名大らしさを表現していく第一歩を踏み出すきっかけとしたい、という思いが込められています。

本祭に先立ち、5月18日(日)には、毎年恒例で開催される名大祭プレ企画「仮装行列」が、名古屋栄の白川公園をメイン会場として実施されました。

6月5日から8日にかけての名大祭本祭期間中は、広い東山キャンパスの至るところで様々な企画が開催され、多数の来場者で大いに賑わいました。

6日(金)の夕方には「第9回盆踊り企画」が実施されました。この企画は、近隣町内会の方々との共同企画で、事前に名大祭実行委員の学生が町内会が行う盆踊りの練習に出掛けて踊りを教わるなどの交流を経て開催されました。当日はあいにくの天候により、屋内会場に変更されたものの、本学の学生はもちろん近隣住民の方々も小さなお子様連れで多数参加する姿が見られ、老若男女がともに輪を描いて踊りを楽しみました。

また、7日(土)には、名大祭本部実行委員会主催による学術講演企画が行われました。『ユニバース～無限の宇宙、そのひとかけらを理解する～』と題して、名古屋大学大学院理学研究科の杉山直教授により、宇宙と身近なものとの繋がりをテーマにした講演が行われ、来場者の方々は宇宙と自身の生活との関連性や名古屋大学の研究への取り組みに関する話題に熱心に耳を傾けていました。

7日(土)、8日(日)に実施された「模擬店ストリート」では、保健所の助言を得て、厳しい衛生管理のもとで40店舗の飲食物の屋台が所狭しと軒を連ねました。各店舗では長い行列ができ、大変な賑わいを見せていました。

その他、ゲーム企画や名古屋大学吹奏楽団、民族舞踊団音舞(おんぶ)の公演、大道芸人によるストリートパフォーマンス、古本市、サークルなど有志団体による企画が目白押しで、家族連れなど多数の来場者が楽しんでいました。

また、本祭期間中は、研究室公開など学術的な企画も学内各所で開催され、多くの参加者が普段見ることのできない大学での研究の一端に触れ、興味深げに見学していました。

7日(土)の夜には、豊田講堂前庭において、レーザーショーが行われました。スモークが吹かれた会場は音楽に合わせて動く色鮮やかなレーザー光線に彩られ、幻想的な雰囲気に包まれました。終了後には多数の来場者から歓声と共に盛大な拍手が送られました。

最終日の夜には、名大祭の最後を締め括る企画として豊田講堂前庭の特設ステージにおいて「後夜祭」が行われ、日が落ちて夕間に浮かび上がる豊田講堂をバックにパフォーマーによる火舞の演技が披露され、集まった来場者は感嘆の声を上げ、東海地区最大規模の大学祭「名大祭」の終演を見届け、その余韻に浸っていました。



## 「第55回名大祭を終えて」



6月5日(木)～8日(日)の4日間にわたり、名古屋大学東山キャンパス全域で第55回名大祭が開催されました。平日はあいにくの雨となってしまいましたが、屋内での企画にも多くの来場者の方々に足を運んでいただき、天気の回復した休日には、名大祭の力を感じさせるような爆発的な盛り上がりを見せました。

昨年の8月から10ヶ月、実行委員長として過ごしてきましたが、ここまでの道は決して平坦とは言えず、むしろ様々なトラブルとぶつかりながら名大祭を迎えたという印象でした。不安を抱えたまま名大祭当日を迎える形となりましたが、いざ始まるとそんな不安が飛んでいってしまうほど各実行委員がしっかりと働いてくれました。一年生の実行委員も、実行委員になって2ヶ月弱とは思えないほどに責任感を持って活動に参加してくれました。このような姿を見ると、全ての実行委員が名大祭の成功を心から願っていたことが分かり、彼らをまとめる立場であることを誇りに思うとともに、幸せに感じました。

名大祭の実行委員として2年半活動してきましたが、実行委員長という立場から見ると名大祭というのは、それまでとはまったく違うものでした。委員長になる前の名大祭への考え方は、「とにかくその時の名大祭を成功させたい」というものでした。しかし委員長になって、「名大祭はその年が成功すればよいのではなく、来年、再来年と名大祭を続けていかなければいけない」と思うようになりました。名大祭に関わっているのは実行委員だけでなく、名大生、大学や地域の方々、その他名大祭を毎年楽しみにしてくださっている方々があります。そのような中で、今までの54回分の歴史の上に、55回の想いをのせて次代に引き継ぐことが、委員長としての使命だと思ふようになりました。

名大祭というのは、時代とともに変化していくものです。過去にも、色々な様式の名大祭がありました。ですので、来年の名大祭がどのようなものになるのかというのは、まだ分かりません。ですが、55年間貫いてきた「学生自治の祭典」という理念だけは変えることなく来年も名大祭が行われ、そしてまたこの理念が引き継がれ、何年も続いていくのだと思います。どうか今後とも、この名大祭を温かく見守っていただければと思います。

第55回名大祭本部実行委員会 委員長 林 昌広





# 海外留学・海外渡航

## 海外留学について

海外留学を実現するための最初の一步として、毎週火曜日に「海外留学入門セミナー」を開催しています。留学担当教員が留学プログラムの概要や選考の流れ、必要な語学レベルと成績、単位、奨学金、留学計画のヒントなどについてご説明をしますので、お気軽にご参加ください。尚、名古屋大学では、留学情報の提供&相談窓口として、国際棟（旧留学生センター）1階に「海外留学室」を設置していますのでご利用ください。

## 海外留学のサポート体制

### 海外留学室のサポート

海外留学入門セミナー・・・毎週火曜日のお昼休み 12:15～12:45、国際棟（旧留学生センター）1F 海外留学室、予約不要

- 海外留学情報の提供（ホームページ、facebook、メーリングリスト、図書貸出）
- 説明会、セミナーなどの開催（交換留学、短期留学など）
- 個別相談（予約制 / 専任教員が担当）
- 留学出願手続きのサポート

### 名大の主な留学プログラム

協定校への「交換留学」は応募から渡航まで半年以上かかるため、長期計画で臨む必要があります。一方「短期留学」は準備期間が短く、語学条件なども緩やかなため、交換留学前のお試し留学として利用する学生が多くなります。欧米以外の大学であっても、英語で講義を受けることのできる大学もありますので、相談に訪れてください。

- 名古屋大学協定校（全学）への交換留学（原則1年間、1学期間も可能）  
世界27カ国約100校
- 名古屋大学協定校（全学）への短期留学（2週間～1ヵ月程度） ※下記は一例です。  
英語研修（モナシ大 / 豪州、ヨーク大 / カナダ、ノースカロライナ大 / 米国、フライブルク大 / ドイツ）、  
英語講義の受講（ガジャマダ大学 / インドネシア、慶熙大 / 韓国、香港大 / 中国、ジュネーブ大 / スイス）  
中国語研修（同済大 / 中国、国立台湾大 / 台湾、国立中正大 / 台湾、復旦大 / 中国）  
韓国語研修（梨花女子大、慶熙大、漢陽大、延世大、）  
独語研修（フライブルク大）、仏語研修（ストラスブール大）
- JASSO 海外留学支援制度（海外大学院の学位取得奨学金）
- ルノー財団理工学修士プログラム（奨学金付）

## 海外渡航について

### 海外へ渡航する際の届出について

海外へ渡航する学生は、オンライン上でデータベースへの入力をする必要がありますので、渡航前に下記のデータベースにアクセスしてください。

#### 1. データベース入力目的

海外で災害・テロ、感染症発生等の緊急事態が発生した際に、名古屋大学から該当地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行うためのものです。

#### 2. データベースへの入力方法

以下のURLにアクセスし、名古屋大学IDとパスワードを入力してログインし、案内に従って入力してください。

<https://intl.ecis.nagoya-u.ac.jp/tokou/>

※下記からもアクセスできます。

- ① 名古屋大学HPトップ画面→国際交流→留学生センター→海外留学情報→渡航準備→海外渡航時の届出のお願い
- ② 名古屋大学HPトップ画面→学内専用→学生向け→名古屋大学ポータルにログイン→学務または国際活動→海外へ渡航する際の届出について

#### 3. データベースに入力するメリット

データベースに入力することにより、「留学願」、「海外渡航届」、「海外渡航（留学）中の連絡先（緊急連絡用）」の届出様式をデータベース上からダウンロードすることが可能となり、届出様式に記入する手間が省略できます。

またオンライン入力なので、渡航先を含む学外からもアクセスが可能です。

海外渡航データベースについての照会先 / ■届出書類に関すること： ■データベースへの入力に関すること：  
 ▶所属学部・大学院の教務担当部署 ▶国際部 国際学生交流課  
 E-mail: [tokoudb@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:tokoudb@adm.nagoya-u.ac.jp)

# 企画・学務部の窓

## 学生相談総合センター案内

名古屋大学では、学生相談・メンタルヘルス相談・就職相談・障害学生支援の体制を充実させ、豊かな学生生活の実現をはかるために、学生相談総合センターが設置されています。

毎日の生活の中から生じてきた悩みや課題は、自分自身について考える良い契機ともなります。

日常場面では悩みや課題にゆっくり取り組むゆとりをなかなか持ちにくいものです。そんな時このセンターを利用してみてはいかがでしょうか。

学生相談総合センターは、皆さんの学部や研究科とは独立した組織です。あなたのプライバシーは守りますので、気軽に利用してください。



相談申込・問い合わせ  
3つの方法があります

- 直接受付に来て申し込む
- 電話で申し込む
- メールで申し込む

<p><b>学生相談部門</b> 052-789-5805 工学部7号館B棟2F 学生相談総合センター受付</p>	<p><b>メンタルヘルス部門</b> 052-788-6276 保健管理室1階 受付</p>	<p><b>就職相談部門</b> 052-789-2176 工学部7号館B棟2F 学生支援課 就職支援室</p>	<p><b>障害学生支援室</b> 052-789-4756 工学部7号館B棟2F 障害学生支援室</p>
---	---	--	---

学生相談総合センターの受付時間

月～金 10:00～17:00

URL: <http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/>

E-mail: [soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp)

[sg-sien@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:sg-sien@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp) (障害学生支援室)

学生相談総合センターでは専任相談員のほかに、各分野に精通した兼任相談員も皆さんをサポートしています。詳しくは、「学生便覧」、「学生相談総合センターだより」、「学生相談総合センターホームページ」をご参照ください。



## Peer Support

「ピア」とは仲間という意味です。

名古屋大学学生相談総合センターには3つのピアがあります。学生ボランティアの仲間が全力でサポートします。

相談したいあなたも、サポーターとして活動したいあなたも、お気軽にご連絡ください。(E-mail: [soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp](mailto:soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp))

<p style="text-align: center;"><b>学生生活について</b></p> <p>困ったことがあったら、相談に来てください。 場所: 中央図書館2F ピアサポブース 時間: 水曜日12～16時 (長期休暇期間除く)</p> 	<p style="text-align: center;"><b>就職活動について</b></p> <p>進路の決まった頼りになる先輩たちが、あなたの就活応援します。 場所: 工学部7号館B棟2F 就職支援室 期間: 10月～2月 就職の決まったみなさん、サポーター活動してませんか</p> 	<p style="text-align: center;"><b>障害学生支援について</b></p> <p>障害学生支援の活動をしています。興味がある人、ちょっと気になる人は、連絡を!! 場所: 工学部7号館B棟2F 障害学生支援室</p> 
--	--	--

## 学生会館の利用状況

企画・学務部学務課

学生会館は、本学東山地区の北端（北部厚生会館の北隣）にあり、学生の課外活動、自治活動等に利用できる施設です。館内には集会室、和室、談話室及び理容室があります。集会室は9室(50名用2室、30名用2室、25名用2室、20名用2室、15名用1室)、和室は2室あり、これらは主としてサークル団体が課外活動に利用しています。談話室は学生が授業外の時間等に利用できるコーナーで、休息をとったり、囲碁や将棋を楽しむことができます。

平成25年度においては、年間359日開館され、集会室及び和室の利用件数は3,433件（1日平均9.6件）、利用者数は107,147人（1日平均298.4人）となっています。



平成25年度月別利用状況

年	月	開館日数	利用件数	利用者数			
				学生	教職員	計	
25	4	30	296	10,529	0	10,529	
	5	31	307	8,786	0	8,786	
	6	30	251	7,975	0	7,975	
	7	31	298	9,133	0	9,133	
	8	31	315	8,176	0	8,176	
	9	30	297	9,737	0	9,737	
	10	31	291	8,665	0	8,665	
	11	30	295	8,853	0	8,853	
	12	28	283	9,492	0	9,492	
	26	1	28	246	7,949	0	7,949
		2	28	263	7,657	0	7,657
		3	31	291	10,195	0	10,195
計		359	3,433	107,147	0	107,147	

平成25年度曜日別利用件数



## 中津川研修センターの利用状況

企画・学務部学務課

この施設は、東海地区国立大学の共同利用施設として、学外における演習・実習・課外教育等を通じて、学生・教職員間の、さらには大学間の交流を図り、学生の人間形成に資することを目的として設置されています。

研修センターのある岐阜県中津川市の苗木地区は、旧苗木藩の城下町として知られる風光明媚な地域です。近くには中津川市鉱物博物館、恵那峡県立公園等が、少し足をのばせば、旧中山道沿いに島崎藤村記念館、馬籠・妻籠等の旧宿場があります。

同センターは5人以上の団体で4泊5日以内の研修計画を立てれば、誰でも気軽に利用できます。平成25年度には、36団体、延3,612名(実人数1,311名)の利用がありました。

宿泊室には和室と洋室があり、一部洋室には大型ベッドを配置しています。また液晶プロジェクタや無線LANによるインターネット接続を利用することができます。

利用についての詳細は、企画・学務部学務課(052-789-2165)にお問い合わせください。



平成25年度大学別利用団体数

大学名等	団体数	%
名古屋大学	27	75
名古屋工業大学	0	0
愛知教育大学	1	3
豊橋技術科学大学	0	0
岐阜大学	2	6
三重大学	1	3
静岡大学	0	0
浜松医科大学	0	0
東海地区外国立大学	0	0
公・私立大学	1	3
その他(高専地域団体等)	4	11
計	36	100

平成25年度利用状況

区分	利用者数(人)	%
学生	1,345 (562)	37
教職員	259 (83)	7
その他	2,008 (715)	56
計	3,612 (1,360)	100

注:延べ利用者数を示す。  
( )内は女子の内数。

### 施設の概要

- ◆ 研修棟 (面積:1,348m<sup>2</sup>)
  - ・大研修室 (100人収容)
  - ・中研修室 (50人収容、2室分割可)
  - ・宿泊室 (和室7室) (5人×2室、4人×5室)  
洋室5室 (3人×3室、8人×2室)
- ◆ 体育館 (面積:1,348m<sup>2</sup>)

# 企画・学務部の窓

## 就職支援室及び就職相談室の利用案内

企画・学務部学生支援課

### 就職支援室（工学部7号館B棟2F学生支援課）

就職支援室では、就職活動に役立つ情報を提供し、年間を通じて進路探索活動を支援しています。積極的に活用してください。

### <就職支援室で利用できる就職支援ツール>

#### OB・OG名簿閲覧

名大卒業生が在籍している企業のうち、名簿の提供があった企業について、OB・OGの情報が閲覧できます。興味のある企業にOB・OGがいれば、アポイントをとって訪問することも可能です。（閲覧には学生証が必要です。）

#### 求人情報・会社概要等閲覧

企業等から名大生のために寄せられた求人票、会社案内や会社説明会情報など、インターネットには出ていない就職情報を見つけることができます。民間企業はもちろん、公務員や教職員の求人情報、願書も閲覧及び配付を行っています。

#### 職業適性診断システム「キャリア・インサイト」

パソコンによる適職診断検査「キャリア・インサイト」を受検することが可能です。結果を有効に活用するために、受検後は就職相談を利用しましょう。また、パソコンはインターネットに接続されているので、企業情報の収集などにも使えます。

#### 就職関連書籍及びDVD閲覧・貸出

広く社会情勢を理解するために役に立つビジネス雑誌や日経新聞等の閲覧ができます。また、就職活動に役立つ書籍の閲覧・貸出を行っています。さらに、参加できなかった全学対象ガイダンスの記録や就職マナー等のDVDを視聴できます。

## 就職支援室メールマガジンに登録しよう！

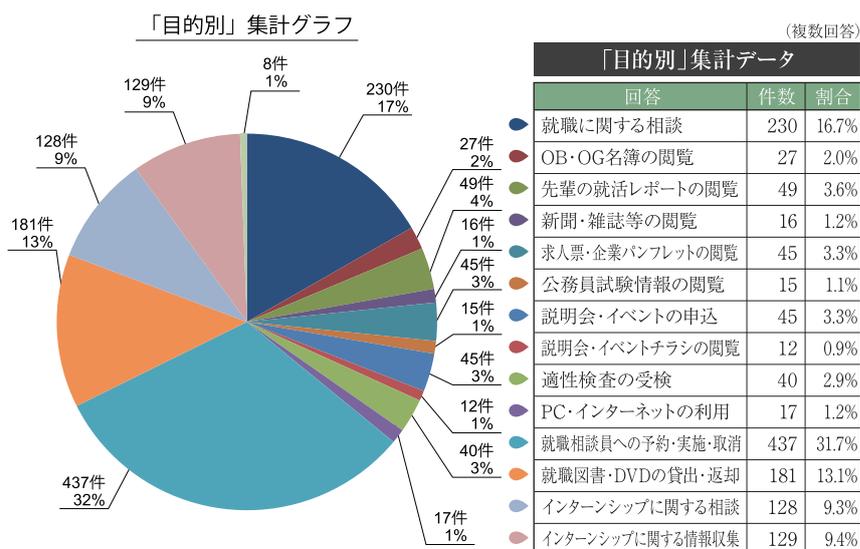
就職支援室では、就職支援メールマガジン配信により、キャリアサポートガイダンスや合同企業説明会、インターンシップ情報など、就職活動やインターンシップに役立つ情報をリアルタイムで学生の皆さんにお届けしています。まだ登録を行っていない方は、下記URLまたはQRコードからメールマガジンに是非、登録しましょう（携帯電話の機種によっては、うまく表示されないことがあります）。なお、登録には名古屋大学ポータルからのメールアドレス登録（p11参照）が必要ですのでご注意ください。

<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/merumaga/>



### ◆ 就職支援室利用状況／就職支援室来室アンケート ◆

学部・研究科	人数			計
	人数	(男性)	(女性)	
文	104	11	93	118
文学研究科	14	8	6	
教	38	11	27	63
教育発達科学研究科	25	2	23	
法	58	19	39	61
法学研究科	3	3	0	
経	128	91	37	134
経済学研究科	6	3	3	
国開	7	1	6	7
国言	21	1	20	21
情文	29	13	16	29
理	29	25	4	110
理学研究科	81	52	29	
多元	16	13	3	16
工	139	119	20	334
工学研究科	195	188	7	
農	35	11	24	85
生命農学研究科	50	30	20	
医	0	0	0	29
保健学科	14	4	10	
医学系研究科	15	9	6	
環	62	49	13	62
情報	30	29	1	30
創薬	7	1	6	7
不明	2	2	0	2
合計	1,108	695	413	1,108



集計月	人数			累計
	人数	男性	女性	
4月	299	197	102	299
5月	409	231	178	708
6月	400	267	133	1,108
合計	1,108	695	413	1,108

<平成26年度 4月～6月>

## 就職相談室（工学部7号館B棟2F学生相談総合センター）

### ◆ 就職相談室について

工学部7号館就職支援室に隣接する就職相談室には、学生相談総合センター就職相談部門の専任相談員（キャリアカウンセラー）が2名常駐し、学生の皆さんの進路や就職に関する相談に応じています。

### ◆ 相談対応

就職活動期だけではなく、年間を通じて相談対応しています。就職活動への意識が高まりだす冬休みや、教員や公務員試験が本格化する夏休みにも就職支援室同様に多くの就職活動生が利用しています。

相談は一人30～50分、個別相談体制です。落ち着いた雰囲気の中じっくり時間をかけることで、自分についてや社会についての理解を深めたり、疑問や不安の元になっているものを一緒に解決できる場となっています。

### ◆ 対象学年

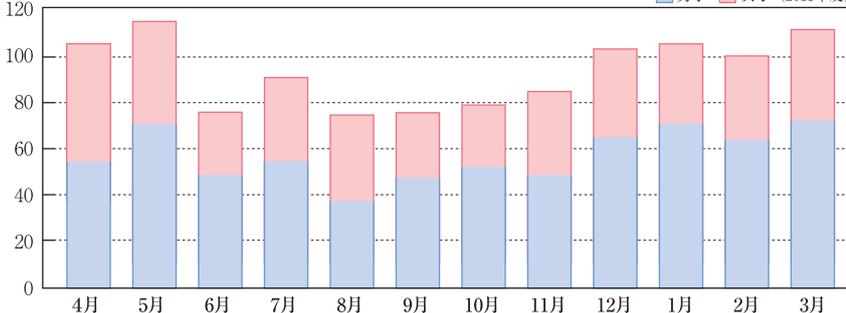
就職活動期にある3年・4年生やM1・M2生だけではなく、これからの進路について興味や関心、疑問や不安がでてきた低学年の学生やドクター・研究生などさまざまな学年の学生が利用しています。

### ◆ 相談内容

具体的な就職活動期には、自己分析や業界・企業選択について、エントリーシートや面接や筆記試験など選考についての相談が多く寄せられます。最近では、インターンシップに関する相談も増えています。就職活動が終盤になってきても、内定に関する相談や、決断をどう下すか、周囲の意見との相違や、進学か就職か、公務員か民間企業かなど、あらゆる時期にさまざまな相談が寄せられています。一見同じ相談にみえても、深く掘り下げていくと一人ひとり相談内容もその後の選択も異なります。

学生のみならずには学年・時期を問わず、自分の進路選択に真剣に取り組み、就職相談室を利用することで、疑問や不安を自信にかえていくことができるよう期待しています。

月別利用状況男女比較（面談人数）



## ◆ 就職相談利用状況 ◆

学部別来談回数 (2013年度)

	男	女	合計
文学部	29	74	103
教育学部	6	22	28
法学部	35	23	58
経済学部	57	47	104
情報文化学部	29	11	40
理学部	58	7	65
工学部	58	14	72
農学部	22	27	49
医学部	1	24	25
家族		3	3
教職員	1		1
合計	296	252	548

研究科等別来談件数 (2013年度)

	男	女	合計
文学研究科	15	32	47
教育発達科学研究科	6	15	21
法学研究科	1	2	3
経済学研究科	1	8	9
理学研究科	48	59	107
工学研究科	173	23	196
医学系研究科	34	10	44
生命農学研究科	16	45	61
国際開発研究科	6	17	23
国際言語学研究科	2	13	15
多元数理科学研究科	38	1	39
情報科学研究科	42	3	45
環境学研究科	85	16	101
創薬科学研究科	9	4	13
卒業生	126	36	162
研究生		7	7
聴講生	1		1
履修生	6		6
合計	609	291	900

### ◆ 開設日及び開設時間

毎週 月曜～金曜  
時間 10時～17時まで  
(夏季・冬季休暇中も開設)

### ◆ 利用方法

30分か50分を選択して下さい。予約制をとっています。  
直接予約：就職支援室カウンターにて随時予約を受け付けています。  
電話予約：052-789-2176（就職支援室）平日9時～17時  
※2週間先までの開設日・空き状況は名大 HP→教育／キャンパスライフ→就職関連情報→相談室利用案内で確認できます。  
※メールでの予約の場合は、学生相談総合センターのアドレスまでメールしてください。  
E-mail: soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp



### ◆ 相談場所

学生相談総合センター内  
就職相談室（就職支援室隣接）

### 就職支援室・就職相談室の連絡先



ホームページ  
<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/>



メールアドレス  
s-shien.evententry@adm.nagoya-u.ac.jp



電話  
052-789-2176

お気軽にお問い合わせください



# 企画・学務部の窓

## 平成26年度 名古屋大学 全学対象就職ガイダンス等 実施計画(後期)

○：学部4年、博士課程前期課程2年対象 △：学部3年、博士課程前期課程1年対象 ☆：全学年対象 ◇：インターンシップ参加学生対象

月	日	実施内容	詳細
8月	4日(月)	○ 教員採用試験 個人面接対策講座	教員採用試験面接官経験者から、実践的な教員試験面接を学ぶ
	6日(水)		
	11日(月)	○ ミニ講座 グループディスカッション練習会(教員)	選考試験等で活用されているグループディスカッションを実際に体験
	12日(火)	○ 教員採用試験個人面接対策フォローアップ講座	教員採用試験個人面接受講者に対するフィードバック・振り返り等
	8日(金)	☆ 業界研究セミナー(第3回/全10回)[金融]	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	25日(月)	○ 第1回合同企業説明会事前講座	合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
9月	25日(月)	○ 第1回 学内合同企業説明会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
	26日(火)		
	12日(金)	☆ 業界研究セミナー(第4回/全10回)[運輸]	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	17日(水)	☆ 業界研究セミナー(第5回/全10回)[商社]	
	19日(金)	☆ ミニ講座 第2回仕事発見セミナー	組織内部での役割分担の概要説明及び座談会
	25日(木)	○ 第2回合同企業説明会事前講座	合同企業説明会の利用の仕方、見所の解説
10月	25日(木)	○ 第2回 学内合同企業説明会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
	26日(金)		
	30日(火)	☆ ミニ講座 ワーク・ライフ・バランス・セミナー	若者男女誰もが、仕事等様々な活動について、自らが希望するバランスで展開できる状態になるよう、講演と企業の取り組み発表を行う
	8日(水)	☆ ミニ講座 第3回仕事発見セミナー	組織内部での役割分担の概要説明及び座談会
	9日(木)	☆ 第3回 キャリアプランニングセミナー	これまでの計画の実施状況を確認し、後期をどう過ごすか計画する
	15日(水)	☆ 第3回 キャリアサポートガイダンス	就職活動指導準備及び今後の活動スケジュールに関する講演、内定者による体験発表
	20日(月)	◇ 第3回 全学インターンシップ研修会	インターンシップ参加者による体験発表、意見交換 等
	22日(水)	☆ 第4回 キャリアサポートガイダンス	名大OB・OGによるパネルディスカッション
	29日(水)	☆ 業界研究セミナー(第6回/全10回)[食品]	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	31日(金)	☆ 教員就職ガイダンス	教員として求められる人材像及び採用試験制度の概要、先輩の体験発表及び懇談会等
11月	12日(水)	☆ 業界研究セミナー(第7回/全10回)[エネルギー]	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	26日(水)	☆ 業界研究セミナー(第8回/全10回)[建設・不動産]	
	14日(金)	○ ミニ講座 内定者のための準備セミナー「働く人の基礎知識」	内定取得者が新社会人として知っておきたい基礎知識全般
12月	3日(水)	☆ 業界研究セミナー(第9回/全10回)[化学]	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	17日(水)	☆ 業界研究セミナー(第10回/全10回)[電機・電子部品]	
1月	15日(木)	☆ 第4回キャリアプランニングセミナー	今年度の計画の実施状況を確認し、次年度までどう過ごすか計画する
	未定	◎ 1・2年生のためのキャリアデザインセミナー	将来に向けて今大切なこと等の講演及び演習
2月	12日(木)	☆ 第5回 キャリアサポートガイダンス	就職活動に向けて自己理解・自己分析を深める
	23日(月)	△ 企業説明会事前ガイダンス(27年度卒業・修了予定者向け)	企業研究セミナーの利用の仕方、見所の解説
3月	9日(月)	☆ 第6回 キャリアサポートガイダンス	面接のポイント解説と模擬面接
	11日(水)	△ 国家公務員総合職中央省庁セミナー	試験、採用手続きの説明及び各府省業務説明
	12日(木)	△ 国家公務員一般職・地方公務員等合同業務説明会	試験、採用手続きの説明及び各府省、地方公務員の業務説明
	19日(木)		
	20日(金)		
	21日(土)	△ 名古屋大学企業研究セミナー2015	業界を代表する企業による企業研究セミナー
	22日(日)		
23日(月)			

## トピックス

### 平成25年度名古屋大学総長顕彰

本顕彰は、学問の研鑽や文化・社会活動等を通じて、「名古屋大学学術憲章」の目指す人物像「勇気ある知識人」を実践している学生を称えるために、平成15年度に創設されたものです。

平成25年度の募集は、ポスター、ホームページ及び名古屋大学駅電子掲示板等を通じて、平成25年12月16日(月)～平成26年1月31日(金)の期間に行われ、その結果、「学修への取り組み」部門に8件の学部推薦が、「正課外活動への取り組み」部門に自薦・他薦を合わせて9件の応募がありました。

総長顕彰委員会による厳正な審査及び合議を経て、最終的に8名(団体代表を含む)の学生が、卒業式終了後に行われた授与式にて、平成25年度総長顕彰として、表彰されました。

授与式終了後の総長と受賞学生との懇談会では、和やかな雰囲気の中、総長から、学生に対する将来への激励があった後、活発な意見交換が行われました。



#### 「学修への取り組み」部門(学部推薦)

- ◆ 近藤 千花子 経済学部経済学科 4年
- ◆ 大門 佳祐 情報文化学部自然情報学科 4年
- ◆ 穂苅 早織 理学部生命理学科 4年
- ◆ 宮井 雄基 医学部医学科 6年
- ◆ 加納 隼人 工学部電気電子・情報工学科 4年

#### 「正課外活動への取り組み」部門(自薦・他薦)

- ◆ TEDxNagoyaU プロジェクトチーム  
(代表：山口 涼 工学部3年) / 正課外活動(その他)・社会への貢献活動  
(大学生のみの企画運営でアメリカのライセンスを取得のうえ組織を運営し、イベントを開催して成功を取ったこと)
- ◆ アカデミック・ランチ  
(代表：代表：高田 雄貴 理学研究科 博士課程前期課程2年) / 正課外研究活動・本学への貢献活動  
(文理の枠を超えた異分野交流を推進し、定期的な会合を開催して相互理解を深めたこと)
- ◆ 米内 竜  
(医学部5年) / 正課外活動(部活動等)・社会への貢献活動  
(本学に医療系サークルや学生救命サークルを立ち上げるだけでなく、大学を超えた医療サークルを立ち上げ積極的に活動したこと)



## 「美術館」大学メンバーシップ

企画・学務部学務課

本学は、「名古屋ポストン美術館」、「徳川美術館(蓬左文庫含む)」及び「名古屋市博物館」の大学メンバーシップに加入しています。

この制度は、本学の学生(学部学生・大学院生の正規学生の他、研究生・聴講生などの非正規生を含む)であれば、入場の際に本学の学生証を入口で提示することにより、何度でも無料で入館できる制度です。(一部有

料展示会を除く)

展示内容が変更になる度に各学部等の学生向け掲示板にポスターを掲示しますので、興味のある展示会などは是非鑑賞してください。

たまには、研究活動の息抜きに、美術鑑賞でも如何ですか?

詳しい展示内容は、それぞれのHPでも見られますので、参照してください。

## メールアドレス登録についてのお願い

企画・学務部学務課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用することとしました。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル(MyNU)よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・災害発生時の安否確認に関する連絡
- ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・学務に関する重要事項の連絡
- ・その他、本学がメールにより提供する各種サービス(希望者のみ)

## ゴミ出しマナーはルールを守って

企画・学務部学務課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、種類毎に指定された曜日・場所に出すことになっています。

名古屋市内で単身で下宿生活を送っている学生は、地域の一員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。

分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方(種類の分け方)が判らないときは、各区の環境事業所、又は町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

## 自転車の盗難防止・走行上の注意について

企画・学務部学務課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック(ツーロック)にすることをください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないとされています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役・50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課

せられることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は、坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命にも関わる大事故につながりかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

## 薬物に関する注意喚起

企画・学務部学務課

昨今、大学生による大麻をはじめとする薬物事件が、新聞等で大きく報道されています。

軽い気持ちや興味本位で禁止薬物に手を出してしまうと、自分の人生において取り返しのつかない事態に追い込まれます。罪の重さを後悔しても、

罪を消し去ることはできません。

学生のみなさんは、法令を遵守し、絶対に禁止薬物に手を出さないようにしてください。

## 宗教団体等への注意喚起

企画・学務部学務課

学校内で強引な勧誘を行う宗教団体や、「自主的なサークル」を装って本当の活動目的を伝えず学生を勧誘する宗教団体などに対する注意喚起については、学生生活ガイダンスや掲示物等でも周知しているところですが、素性のよくわからない相手に対して、安易に携帯電話の番号などの個人情報伝えることのないように注意してください。

また、学生のみなさんが少しでも不安や疑問を感じた場合は、企画・学務部学務課(又は各部局の担当掛)や学生相談総合センターに相談してください。

無用なトラブルに巻き込まれないよう、無用な勧誘はきっぱりと断るようしてください。

## マルチ商法等に注意

企画・学務部学生支援課

学生を狙った悪徳商法が多発しています。マルチ商法等みなさんが陥りやすい消費者トラブルの事例は名古屋大学学生便覧に記されています。不要なものはその場ではっきり断ることが大切ですが、契約してしまった後で解約したいときはクーリングオフ制度がありますので、なるべく早く消費者相談窓口で相談してください。

愛知県消費生活情報ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsu/>

中央県民生活プラザ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター1階

TEL: 052-962-0999

# 災害対策

## 防災訓練のほんとうの目的は？

今年の全学地震防災訓練は、10月28日（火）2限です。この日は、過去に東海地域に大きな被害をもたらした1891年濃尾地震と1707年宝永地震の発生日にちなんだもので、来年以降も原則としてこの日に防災訓練を行う予定です。

### ◆ 防災訓練の大切さ

東日本大震災のとき、東北大学でも建物や室内でひどい被害がありました。学内では重傷以上のけが人を出さずに済みました。その大きな理由のひとつに、避難訓練を繰り返し実施していたことがあげられます。東北地方ではこれまで何度も大きな地震災害が発生していますし、本震の2日前の昼にもかなり強い地震があり、避難の確認や心構えもできていました。ところが、東海地域では半世紀以上も大きな地震災害が起こっていません。私たちは実際の経験が少ない分、防災訓練の時に災害時をイメージして行動してみることがとても大切です。

### ◆ 全学防災訓練の目標

名古屋大学は大規模な組織です。大きな災害が起こった時に全員の安全を守るためには、まず自分の身を守る行動、次に身近な人の協力が大切です。全学地震防災訓練では、まず緊急地震速報の放送に続いて、強い揺れから身を守る行動（安全姿勢）を取ります。これはどのような場所においても、その状況に応じて、身を守る方法を考えることにつながります。次に、建物ごとにまとまって一次避難場所に避難し、全員の無事を確認します。このとき、各建物の教職員による自衛消防隊が安全に避難できるように指示・誘導しますので、落ち着いて行動できるようにしてください。このような対応は、地震のときだけでなく火災や事故などの非常事態でも同じですので、慣れておくことが大切です。

### ◆ 防災訓練を備えのきっかけに

「備えていたことしか、役には立たなかった。備えていただけでは、十分ではなかった。」東日本大震災のときに最前線で指揮をとった人のことばです。何を備えたらよいか、日常ではなかなか考える機会がありません。大地震や火災のときに、いまのままで本当に助かるのか、防災訓練の準備を通して考えてください。自分の危険に気づき、有効な対策をすることが、防災訓練の本当の目的です。

### ◆ 減災館も利用して

「減災館」が平成26年3月に完成しました。平常時は防災・減災に関する研究、教育、地域連携の場として、大規模災害発生時には名古屋大学と地域の災害対応拠点として使用されます。1・2階は防災に関する体験型の展示や多数の資料があり、学内や市民に公開されています。また学内向けの連続講演会「減災まなび舎」など、防災・減災関連の行事も定期的に開催されています。災害を知り、備えを進めるために、ぜひご利用ください。

減災館の一般公開時間：火曜から土曜の13:00～16:00。減災まなび舎：毎月1回水曜13:00～14:00に開催。

詳しくは災害対策室および減災連携研究センターのホームページなどをご覧ください。

<http://www.seis.nagoya-u.ac.jp/taisaku/>



## 伝言板(2)

### 学生住居・家庭教師の斡旋・紹介及びアルバイトの情報提供

企画・学務部学生支援課

それぞれ、次により斡旋・情報提供をしています。

#### 1. 住まいの斡旋

名古屋大学消費生活協同組合  
(Tel.781-7503)

#### 2. アルバイトの求人情報

- 1) 家庭教師の斡旋・紹介…名古屋大学消費生活協同組合  
(Tel.781-1111)
- 2) 一般アルバイト…学生アルバイト情報ネットワーク事務求人サービスで情報提供しています。  
<http://www.aines.net/nagoya-u/>

### 国民年金の学生納付特例制度について

企画・学務部学生支援課

20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。しかし、学生の在学期間中は所得がありませんので、保険料納付が困難な場合があります。このことから、在学期間中の保険料が後払いできる学生納付特例制度があります。

学生納付特例制度は、申請をして承認を受ければ在学期間中の保険料が後払いできる制度で、この特例の承認を受けると、学生納付特例期間中の障害などといった不慮の事故には、満額の年金が支給されます。

<http://www.nenkin.go.jp>